

## 法学研究科 地域創生専攻 修士課程 研究指導の流れ

修士学位取得までの研究指導の流れは、以下のとおりです。

年次	時期	内容
1年次	4月	指導教員によるガイダンスを受け、履修登録届を提出する。
	5月～1月	研究指導科目（合同論文指導Ⅰ・Ⅱ又は特定課題研究Ⅰ・Ⅱ）において指導をうけるとともに、個別の研究テーマに基づく研究の進捗状況について報告し、指導教員の確認をうける。
2年次	4月	指導教員によるガイダンスを受け、修士論文指導願又は特定課題研究成果指導願及び履修登録届を提出する。
	5月～1月	研究指導科目（合同論文指導Ⅲ・Ⅳ又は合同リサーチペーパー指導Ⅰ・Ⅱ）において指導をうけるとともに、個別の研究テーマに基づく研究の進捗状況について報告し、指導教員の確認をうける。
	6月	修士論文又は特定課題研究成果における中間報告の日程が発表される。
	9月	指導教員の指導のもと、中間報告用資料を提出する。
	10月～11月	修士論文又は特定課題研究成果の中間報告を実施する。題目決定届を提出する。
	1月～2月 (7月～8月)	修士論文又は特定課題研究成果の提出。 審査委員による口頭試問を含む最終試験を実施する。その結果に基づき研究科委員会が合否を決定する。
	3月 (9月)	学位の授与。

法学研究科 地域創生専攻 修士課程 学位論文審査基準

法学研究科地域創生専攻修士課程の学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）

- ・ 地域の諸課題を発見し解決に導くための柔軟な法的思考や、安全・安心な地域共生社会の創造に向けて地域社会における様々なリスクに的確に対応できる知識・技能などを深く探求し、実践的研究能力を有している。（DP 1）
- ・ 自治体経営戦略、自治体マーケティング、自治体の人的資源管理、自治体会計（公会計）など、自治体に関するマネジメント分野の素養を身に付けている。（DP 2）

論文審査基準	DPとの対応	
	DP 1	DP 2
1 研究目的（問題関心）は明確であるか	○	○
2 研究主題と研究方法および内容が適切に連関しているか	○	○
3 研究分野に関する知識は十分であるか	○	○
4 先行研究を的確に踏まえているか	○	○
5 使用されている概念・用語は適切であるか	○	○
6 章立て等論文の体裁は整っているか	○	
7 論理の展開には一貫性があるか	○	○
8 考察及び結論は説得的であるか		○
9 図表の体裁（タイトル・単位・形式）は整っているか	○	
10 図表は本文の説明と適合しているか	○	
11 要旨の内容は適切であるか	○	
12 研究倫理上の問題はないか	○	

## 法学研究科 地域創生専攻 修士課程 特定課題研究成果審査基準

### 法学研究科地域創生専攻修士課程の学位授与方針（ディプロマポリシー：DP）

- ・ 地域の諸課題を発見し解決に導くための柔軟な法的思考や、安全・安心な地域共生社会の創造に向けて地域社会における様々なリスクに的確に対応できる知識・技能などを深く探求し、実践的研究能力を有している。（DP 1）
- ・ 自治体経営戦略、自治体マーケティング、自治体の人的資源管理、自治体会計（公会計）など、自治体に関するマネジメント分野の素養を身に付けている。（DP 2）

特定課題研究成果審査基準	DPとの対応	
	DP 1	DP 2
1 研究目的（問題関心）は明確であるか	○	○
2 研究主題と研究方法および内容が適切に関連しているか	○	○
3 研究分野に関する知識は十分であるか	○	○
4 使用されている概念・用語は適切であるか	○	○
5 論理の展開には一貫性があるか	○	○
6 事例を十分に踏まえているか	○	○
7 考察及び結論は説得的であるか		○
8 図表の体裁（タイトル・単位・形式）は整っているか	○	
9 図表は本文の説明と適合しているか	○	
10 要旨の内容は適切であるか	○	
11 研究倫理上の問題はないか	○	